

(別紙 4)

三重県認知症介護研修推進計画（令和 4 年度～令和 5 年度）

令和 4 年 5 月 3 1 日作成

1 計画の目的

○今後も見込まれる認知症高齢者の増加に伴い、介護サービスの利用の増加が予想されるため、認知症高齢者をケアする介護従事者の資質の向上を図る。また、介護保険施設内の認知症介護の資質向上を図るため、三重県認知症介護研修事業を実施する。

2 計画の策定・推進体制

- 三重県認知症介護研修推進計画の策定・推進に関しては、三重県医療保健部長寿介護課において、協議する。また、各種研修事業の指定法人、委託事業者及び認知症介護研究・研修センター等と連携し、円滑な事業運営を図る。
- 計画期間については、「みえ高齢者元気・かがやきプラン」の計画期間（令和 3 年度～令和 5 年度）に合わせて 2 年間とする。

3 認知症介護基礎研修実施計画

① 実施計画

指定法人において、e-ラーニング、ZOOM、対面形式により、実施する。

② 対象者数想定にあたっての根拠・方針等

令和 3 年度介護報酬改定による無資格者の受講義務化に伴う受講希望者の増大に効率的に対応するため、e-ラーニング、オンライン、対面形式により実施し、受講希望者全員に対して受講機会を提供する。

1 回あたりの 受講（予定） 者数（人）	カリキュラム	実施場所	研修時間	年次別の実施予定回数と受講（予定）者数					計
				令和 4 年度	令和 5 年度				
20名/期 (1か月)	国要綱 どおり	e-ラーニング	3時間	10期 200名	10期 200名				20期 400名
60名	国要綱 どおり	オンライン	6 時間	6回 360名	6回 360名				12回 720名
40名	国要綱 どおり	会場及びオン ライン	6時間	3回 120名	3回 120名				6回 240名

4 認知症介護実践研修

① 実施計画

指定法人において実施する。

② 対象者数想定にあたっての根拠・方針等

基礎的な知識、技術及び経験を有する介護職員を対象とし、実態把握及び実施機関である指定法人の実施体制を鑑み、研修の希望者数を踏まえた適切な受講枠の確保に努めていく。

区分	対象職種	1回あたりの 受講（予定） 者数（人）	カリキュラム	実施場所	研修時間	年次別の実施予定回数と受講 （予定）者数				計
						令和 4 年度	令和 5 年度			
実践者研修	介護保険施設、事業所等で認知症介護に関わる職員	70人	国要綱 どおり	県内会場 又は オンライン 又は その両方	講義・演習 24時間 課題設定 4時間 職場実習 4週間 実習のまとめ 3時間	3回 210人	3回 210人			6回 420人
実践リーダー研修	介護保険施設、事業所等で認知症介護に関わる職員	20人	国要綱 どおり	県内会場 又は オンライン 又は その両方	講義・演習 31時間 課題設定 4時間 職場実習 4週間 実習のまとめ 7時間	3回 60人	3回 60人			6回 120人

③ 成果の確認及び評価の視点等

【認知症介護実践者研修】

	項目	できている	まあできている	あまりできていない	できていない
①	認知症の人の意思を確認しながらケアを行っている	4	3	2	1
②	中核症状の影響を理解した上で、認知症の人の有する能力に応じたケアを行っている	4	3	2	1
③	行動・心理症状（BPSD）への対症療法的な対応ではなく、その背景を理解した上でケアを行っている	4	3	2	1
④	多角的な視点でアセスメントを行い、その結果を踏まえて認知症の人が望む生活の実現に向けたケアを行っている	4	3	2	1
⑤	家族介護者が置かれている状況や負担等に配慮した支援を行っている	4	3	2	1
⑥	認知症の人の権利侵害や虐待につながる可能性のある不適切な対応に気づき、防止または改善を行っている	4	3	2	1
⑦	認知症の人に対して自分が行っているケアを振り返り、課題を見つけることができている	4	3	2	1
⑧	必要に応じ医療専門職と適切に連携している	4	3	2	1
⑨	カンファレンス等において、根拠を伴う発言を行い、チームの意思決定に貢献できている	4	3	2	1
⑩	地域の認知症の人のための取り組み（施策）を理解し、貢献しようとしている	4	3	2	1

【実践リーダー研修】

	項目	できている	まあできている	あまりできていない	できていない
①	認知症の人を一人の「人」として理解しつつ、行動の背景の一つである認知症の病態を理解してケアしている	4	3	2	1
②	チームにおける目標や方針を設定し、チームを円滑に運用している	4	3	2	1
③	認知症及び認知症ケアに関する専門的な知識を持ち、チームメンバーに説明している	4	3	2	1
④	利用者の尊厳を重視し、意思決定支援を行うことの重要性を理解し、チームメンバーに説明している	4	3	2	1
⑤	チームメンバーのストレス状況を把握し、適切な支援を行っている	4	3	2	1
⑥	チームメンバーの認知症ケアの能力を適切に評価している	4	3	2	1
⑦	カンファレンス等の会議を効果的に展開している	4	3	2	1
⑧	認知症ケアの中で生じる倫理的課題の構造を理解し、課題解決のための指導を行っている	4	3	2	1
⑨	OJT（職務現場での業務を通じての指導）の意義や方法を理解し、適切に指導している	4	3	2	1
⑩	チームメンバーへの指導の結果・成果を適切に評価している	4	3	2	1
⑪	医療専門職との適切な連携をマネジメントしている	4	3	2	1
⑫	同職種・多職種間で連携や役割分担を行い、チームで取り組む体制を作っている	4	3	2	1

⑬	地域の認知症の人のための取り組み（施策）に 関与している *自施設・事業所の内外を問わない	4	3	2	1

5 認知症介護サービス事業開設者研修

① 実施計画

1回あたりの 受講（予定） 者数（人）	カリキュラム	実施場所	研修時間	年次別の実施予定回数と受講（予定）者数					計
				令和 4 年度	令和 5 年度				
30人	国要綱 どおり	会場又はオン ライン	講義 6時間 職場体験 8時間	1回 30人	1回 30人				2回 60人

② 受講者選考にあたっての方針

市町からの推薦がある受講者から選考する。

6 認知症対応型サービス事業管理者研修

① 実施計画

1回あたりの 受講（予定） 者数（人）	カリキュラム	実施場所	研修時間	年次別の実施予定回数と受講（予定）者数					計
				令和 4 年度	令和 5 年度				
60人	国要綱 どおり	会場又はオン ライン	9時間	2回 120人	2回 120人				4回 240人

② 受講者選考にあたっての方針

市町からの推薦がある受講者から選考する。

7 小規模多機能型サービス等計画作成担当者研修

① 実施計画

1回あたりの 受講（予定） 者数（人）	カリキュラム	実施場所	研修時間	年次別の実施予定回数と受講（予定）者数					計
				令和 4 年度	令和 5 年度				
30人	国要綱 どおり	会場又はオン ライン	9時間	1回 30人	1回 30人				2回 60人

- ② 受講者選考にあたっての方針
市町からの推薦がある受講者を優先する。

8 認知症介護指導者養成研修

① 指導者養成計画

令和4年度	令和5年度	令和5年度 までの計
2人	2人	4人

- ② 受講者選考にあたっての方針
介護実務年数、指導者としての活動可能年数、所属する施設の所在地、資格及び役職等を総合的に勘案し、面接を実施して選考する。

9 認知症介護指導者フォローアップ研修

① フォローアップ計画

令和4年度	令和5年度	令和5年度 までの計
1人	1人	2人

- ② 受講者選考にあたっての方針
研修事業に関する活動実績、受講希望等を総合的に勘案し選考する。